下水道管更生技術施工展2010関西を終えて

米川　尚男
YONEKAWA　Takao
(公社)日本下水道管路管理業協会
技術部調査課長

1. はじめに

下水道管路の維持・管理現場は，そのほとんどが地下作業・夜間作業となり，関係者以外はどうしても見るチャンスが少なくイメージがつきにくいものとなっています。そこで実際の施工技術を地上でデモ施工することにより，目で見て・触れて・感じて分かる「百聞は一見に如かず」を開催意義とし，下水道管更生技術施工展（以下,「施工展」）を平成13年にスタートしました。第1回と第2回は関西支部（大阪）で開催。見学者から，各工法の施工手順から仕上がり状態まで直接見聞きでき工法の特徴をつかめる，また関連する穿孔機や調査機器，清掃車両，安全器具等の展示説明も受けられると好評であったことから，その後全国各地で開催しています。なお，昨年の金沢市では台風の影響により前日急きょ中止としたことから，イベント保険の充実，順延日の設定，緊急時対応の再検討等，今回の開催に向け準備を進めてきました。

2. 施工展2010関西について

施工展2010関西は，10月6日（水）夏のような強い日差しの中，大阪市住之江区の咲洲コスモスクエア地区において開催しました。入場者数は約1,800名と目標の1,200名を大きく超え，1日の開催としては過去最多数となりました。入場者内訳は官公庁3割，関連企業5割，コンサルタント1割，一般2割。今回は，国土交通省近畿地方整備局，大阪府，京都市上下水道局，大阪市，堺市上下水道局，神戸市建設局，日本下水道協会関西地方支部，㈶下水道新技術推進機構，㈶大阪市下水道技術協会の後援を得たこと，さらには大阪府による府内市町村職員を対象とした技術研修会で本施工展を活用し来場されたことなどから,官公庁からの参加者が多く目立ちました。

出展は28団体からで，各分類別出展数（重複あり）は，管きょ更生・耐震化技術が14団体，管きょ補修技術が5団体，コンクリート防食･マンホール補修技術が5団体，調査・診断技術が6団体，清掃技術が2団体，安全技術が1団体でした。

管きょ更生については，各工法自慢の技術を競い合うかのように例年大規模に行われています。今回は1箇所に80人以上の見学者が集まり，通路がその人だかりで通れなくなるほどでした。調査・診断技術については，管きょ更生等の事前調査，出来形検査等において活用が期待される最新のテレビカメラをはじめ，展開画像システム，劣化診断ロボット，管内径計測機器等の出展がありました。また今回は工事全般に利用

表－1　施工展開催実績

回　数	開催地	開催場所	開催日	出展数	入場者数
第1回	和泉佐野市	りんくうタウン	H13.12.6	19	923名
第2回	大阪市	コスモスクエア	H14.11.8	24	1,107名
第3回	広島市	海島博覧会場跡	H15.10.24	26	1,531名
第4回	名古屋市	名古屋市応急給水センター	H16.10.8	33	1,474名
第5回	佐賀市	どん3広場	H16.11.11	28	1,082名
第6回	塩竈市	JR本塩釜駅貨物ヤード跡地	H17.10.6	29	1,237名
第7回	小樽市	「小樽築港前駅」前JRヤード	H18.6.16	28	1,245名
第8回	松山市	城山公園内	H19.10.12	29	1,338名
第9回	三郷市	中川水循環センター	H20.10.9-10	28	2,346名
中止	金沢市	西部緑地公園多目的広場	H21.10.8	30	＊＊＊＊
第10回	大阪市	コスモスクエア	H22.10.6	28	1,786名

写真－1　全景

写真－2　会場内

されるものとして，環境に配慮したLED投光器の展示が複数ありました。これまでにない切り口，新技術を取り入れた多種多様な展示も今後増えていくことを期待します。

昼の約1時間はデモ施工を行わない時間とし，開催10回目を記念して講演会を併催しました。開会式では当協会の長谷川会長から主催者挨拶があり，大阪市建設局の前田理事から祝辞をいただきました。講演の内容については，大阪市建設局下水道河川部下水道施設管理担当の二ノ形課長から『大阪市における管更生工法の現状と考え方』，神戸市建設局下水道河川部保全課の尾園主幹から『神戸市における下水道改築更新計画の考え方』と題して，各都市の管路施設の現状と課題，管更生の実施状況と今後の取り組みなど貴重な話を聴くことができました。聴講者数はカウントしていませんが200部用意した講演資料が足りなくなり，大型テントでは収容できないほどの状態となりました。

図－1　デモ施工・実演スケジュール

3. 関連事業の紹介について

当協会には正会員と賛助会員の工法協会関係者が集まる「修繕・改築委員会」があり，技術図書作成のほか施工展の関連事業として次のような活動を行っています。

（1）修繕・改築工法説明会

本説明会は，官公庁及び設計・施工会社の担当者を対象に，下水道管路施設の修繕・改築工法に関する最新技術，施工事例等の情報提供を目的に行っています。各会場15程度の工法協会が20分間の説明を順番に行うもので，平成20年度から県単位で実施し，今年度で10都市開催しました。

写真－3　管きょ更生工法のデモ施工

写真－6　ライニング材厚さ測定装置

写真－5　取付管一体型部分補修工法のデモ施工

写真－8　省電力・長寿命のLED投光器

写真－7　最新式の吸引車両

写真－9　10回目記念講演会

写真－4　硬化直後の更生管

（2）下水道管路の修繕・改築工法に関する意見交換会

近年，修繕・改築工法に関して自治体の要望が非常に高度化し，また同時にニーズも多様化しています。当協会では自治体のニーズと各工法の技術開発・改良等のマッチングを図るため，各都市の現場担当者に直接お会いし，双方の意見や考え方を交わす「意見交換会」を今年度から始めました。対象は政令指定都市。今回は大阪市，神戸市，名古屋市，東京都の4都市で実施しました。

4. おわりに

施工展発祥の地に戻って開催した今回は，見学者が出展者に質問する場面を多く見かけ，講演会も盛況であったことなどから，関西地域の関係者に管更生等の技術について知識を深めることができ，来場者及び出展者共々，大変意義のあるイベントとなりました。

次回の開催地は年内に決める予定で，全国2周目の初回となります。今後は主催者としてこれまで寄せられたご意見を参考に，参加する側の立場で施工展の運営方法をチェックし，より多くの方に集まって頂き満足のいく内容になるよう取り組んでまいりたいと思います。

最後に，施工展2010関西の開催にあたり，後援を頂きました各団体の関係者各位，積極的にPR活動を展開して頂きました関西支部会員及び出展者各位にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。